

施工説明書【施工される方へ】

1 施工される方へのお願いとご注意

- お客さまにこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、よくお読みください。
 - 施工説明に従って指定された取り付けを行ってください。
 - 取り付け終了後に、必ず動作確認を行ってください。
 - 取り付け終了後に、P.13「10-1 無線装置の説明」「10-2 お客さまへの周知事項」について、必ずお客さまに説明してください。
 - お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 誤った取り扱いによる危害や損害の程度は、以下の表示で区分しています。

警告

「取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意

「取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される」内容です。

警告

- 分解や改造はしないでください。
故障の原因となります。
- 落下させるなど、衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

注意

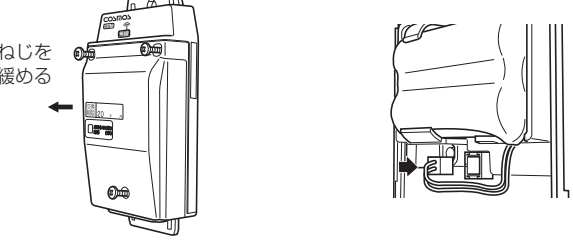
- 正しい取付位置に取り付けてください。
取り付けてはいけない場所に取り付けると、誤動作、故障の原因になります。

1

4 緑組設定方法

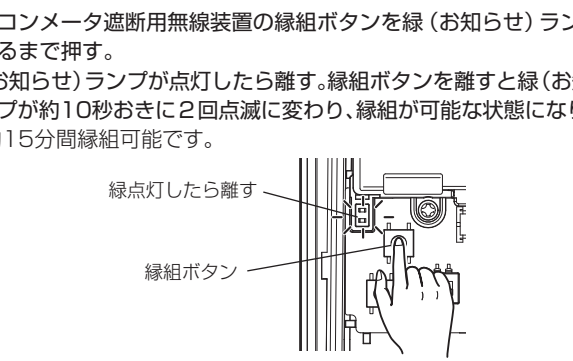
- ※ ガス警報器 (LPガス用)・マイコンメータ遮断用無線装置セット品 (XLR-61) をお買い求めのお客さまはこの「緑組設定」は不要です。緑組された状態で出荷されています。
- ① この無線装置と緑組するガス・CO警報器 (LPガス用) ^{#1}を正しい位置に取り付けてください。
#1 ガス・CO警報器 (LPガス用)：型式XC-691
快適環境おしらせ ガス・CO警報器 (LPガス用)：型式XC-791
 - ② マイコンメータ遮断用無線装置をLPガス検知・警報部の近くに持ってくる。
 - ③ マイコンメータ遮断用無線装置の端子カバーを取り外し、電池コネクタを差し込む (緑 (お知らせ) ランプが1回点滅します)。

ねじを緩める



緑点灯したら離す

緑組ボタン



5

2 施工前の確認

2-1 適応警報器

- 無線連動する警報器が下記型式であることを確認してください。
- ① ガス・CO警報器 (LPガス用)：XC-691
 - ② 快適環境おしらせ
ガス・CO警報器 (LPガス用)：XC-791
 - ③ ガス警報器 (LPガス用)：XL-691

2-2 梱包部品の確認

結束バンド…2本	木ねじ (長さ25mm) …2本
----------	------------------

2-3 交換期限の記入

交換期限記入欄に、お取り付け日から10年後 (西暦) の同月を記入してください。

※ 記入には、油性ペンをご使用ください。

ラミネート紙の裏紙をはがし、記入部分を保護できるよう貼り付けてください。

交換期限記入欄

ラミネート紙

1 裏紙をはがす

2

2

- ⑤ LPガス検知・警報部の電源プラグをコンセントから一度、抜き差しする。

LP ガス検知・警報部

抜く

差し

- ⑥ LPガス検知・警報部の電源プラグをコンセントに差し込むと緑 (電源) ランプが点滅を開始します。
点滅したら、警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントから抜く。
LPガス検知・警報部が緑組可能な状態に切り替わります。

緑ランプ点滅

警報停止スイッチを押しながら電源プラグを抜く

- ⑦ 警報停止スイッチから手を離し、LPガス検知・警報部の電源プラグをコンセントに差し込むと「登録を開始します」と鳴動後、緑ランプと赤ランプが同時点滅し、マイコンメータ遮断用無線装置と緑組を開始します。
- ⑧ 緑組が完了すると「登録が完了しました」と鳴動後、緑ランプと赤ランプが約5秒間同時点灯します。
※ 緑組ができなかったときは、約1分後に「登録できません」と鳴動後、緑ランプと赤ランプが約10秒間同時高速度点滅します。
④からもう一度やり直してください。

6

2-4 保証書への記入

保証書の所定の欄に、販売店さまの名称・住所・連絡先・お取り付け日、お客さまのお名前・電話番号・ご住所を記入してください。

2-5 取付位置の確認

＜マイコンメータ遮断用無線装置の正しい取付位置＞

- マイコンメータの近くで、ランプが確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取り付けること。
- 無線の通信感度を確認して、安定して通信できる場所へ取り付けること。通信テストを行い、取付位置を確認してください。

＜マイコンメータ遮断用無線装置を取り付けてはいけない場所＞

- 温度が－10℃以下または50℃以上になるところ。
誤動作や故障の原因になります。

3

- ⑨ 緑ランプと赤ランプが約5秒間同時点灯した後、LPガス検知・警報部の緑 (電源) ランプが点滅を開始します。
このとき、CO検知部の点検スイッチを押してください。
(LPガス検知・警報部とCO検知部の通信確認のため)
「警報器正常です 電波が受信できています」が鳴動後、電波強度^{#2}を示す音が鳴りLPガス検知・警報部は監視状態に入ります。
※ CO検知部の点検スイッチを押さないで約2分後に「ピッピッピッ CO検知部の電波が受信できません」が鳴り、緑 (電源) ランプが高速度点滅します。
そのときに、CO検知部の点検スイッチを押すと「警報器正常です 電波が受信できています」が鳴動し、LPガス検知・警報部は監視状態に入ります。
ただし、電波強度を示す音は鳴りません。
- #2：電波強度を示す音
電波強度 (強)：「ピーピーピー」
電波強度 (中)：「ピーピー」
電波強度 (弱)：「ピー」
- ⑩ マイコンメータ遮断用無線装置の端子カバーを取り付ける。
※ 防雨性確保のため3本のねじを均等に締め付けてください。

7

3 各部のなまえ

縦配管用結束バンド通し穴

横配管用結束バンド通し穴

木ねじの取付穴

緑 (お知らせ) ランプ / 赤 (遮断) ランプ

端子カバー

縦配管用結束バンド通し穴

木ねじの取付穴

カバー内部の拡大図

緑 (お知らせ) ランプ / 赤 (遮断) ランプ

緑組ボタン

テストボタン

出力設定スイッチ

ケイホウ端子 ⊕ ⊖

リチウム電池

電池コネクタ差し込み箇所

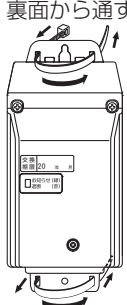
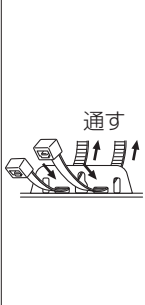
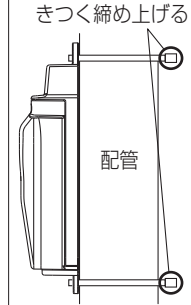
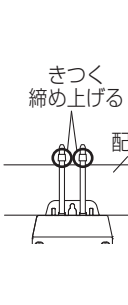
外部端子 ⊕ ⊖

線引出用ゴムキャップ

4

5 取り付けかた

配管の場合 【結束バンドで取り付ける手順】

1	結束バンドを警報器の配管用結束バンド通し穴に通す。	2	配管を囲むように結束バンドを結びつける。
縦配管の場合	横配管の場合	縦配管の場合	横配管の場合
裏面から通す	通す	きつく締め上げる	きつく締め上げる
			

※ 結束バンドで縦配管に取り付ける場合は、必ず上側、下側両方できつく締め上げて止めてください。
落下するおそれがあります。

木の壁面の場合 【木ねじで取り付ける手順】

1	木ねじを途中までねじ込み、仮止めする。
2	仮止めた木ねじに、警報器の取付穴を引っ掛けて木ねじを締め付ける。
3	マイコンメータ遮断用無線装置の下部にある取付穴に木ねじをねじ込んで固定する。

8

6 無線通信確認

マイコンメータ遮断用無線装置を設置後、LPガス検知・警報部が監視状態であることを確認し、テストボタンを押すと緑(お知らせ)ランプが点滅しますので、4秒以内に離してください。

緑点滅したら離す

テストボタン

離した後、緑ランプが
通信良好…5秒間点灯
通信不良…7秒間点滅
※ 通信が良好なところに
設置してください。
※ 緑ランプが点灯または
点滅するのに数秒かか
る場合があります。
※ 同時に無線連動している警報器のLPガス検知・警報部では、「**警報器正常
です 電波が受信できています**」が鳴動し、電波強度を示す音が鳴ります。

● 無線連動している警報器側でも無線通信確認ができます。

① 無線連動している警報器の警報停止スイッチを 1 秒間押すと、緑(電源)ランプが点滅し「ビッ」と鳴ります。

② 「**警報器正常です 電波が受信できています**」が鳴り、その後に電波の強度に応じて下記の3種類の音が鳴ります。

【電波強度】

電波強度(強)：「**ピーピーピー**」

電波強度(中)：「**ピーピー**」

電波強度(弱)：「**ピー**」

※ 電波強度(中) (弱)ですと条件によっては通信エラーを起こす場合がありますので、電波強度(強)で使用してください。

※ 通信エラーの場合は「**ビッビッビッ メータ側の無線機の電波が受信できません**」が鳴ります。
通信状態が良好になるようマイコンメータ遮断用無線装置を移動してください。

7 外部機器との接続方法

準備いただくもの：ドライバー、信号線
※使用可能電線… 単線 単線：φ0.65 ～ 1.2mm (AWG22 ～ 16)
より線：0.5 ～ 1.0mm² (AWG20 ～ 17)
① 端子カバーを取り外し、接続端子を確認する。

＜マイコンメータに接続する場合＞

ケイホウ端子+ ケイホウ端子- S 型マイコンメータ

S 型マイコンメータ側の端子 E 型マイコンメータの場合

ケイホウ + - ケイホウ E 型マイコンメータ側の端子

＜マイコンメータ遮断用無線装置の電池電圧低下・無線通信エラーをNCUなどに出力する場合＞

出力設定スイッチのスイッチ1をONに切り替えることで、マイコンメータ遮断用無線装置の電池電圧低下・無線通信エラーをNCUなどに出力することができます。

スイッチ1 スwitch2
OFF (初期設定)→ON OFF (初期設定)

外部端子+ 外部端子- NCU など

② 下部のゴムキャップに穴を開け、信号線を通す。
③ 信号線をマイコンメータ遮断用無線装置の端子部の表示に従って接続する。
信号線の先端の被覆を約8mmはがしてから、
① 端子台前面の穴に信号線を挿入する。
② 解除レバーを押す。
③ 信号線を奥まで挿入する。
④ 解除レバーを戻す。
※ 解除レバーを戻した後、信号線が抜けにくいことを確認してください。
※ 単線の場合は、解除レバーを押さなくても、そのまま差し込むことができます。
※ 信号線には極性がありますので、間違えないようご注意ください。
④ 端子カバーを取り付ける。
※ 防雨性確保のため3本のねじを均等に締め付けてください。

8 外部機器への出力一覧

※ 出力設定を変更する場合はいったん電池コネクタを抜いて、設定を変更した後再び電池コネクタを差し込んでください。
電源が入った状態では出力設定は切り替わりません。

出力設定スイッチの設定を変更することにより、マイコンメータ遮断用無線装置からの接点出力の方法を変更することができます。

出力設定スイッチ		ケイホウ端子		外部端子
1	2	入力	出力	出力
OFF	OFF	マイコンメータ専用信号	ガス警報	CO警報
ON	OFF		ガス警報	異常検知(※2)
OFF	ON		ガス警報またはCO警報	熱中症おしらせ(※1)
ON	ON		ガス警報またはCO警報	異常検知(※2)

※1：警報器対応型式：XC-791
※2：異常検知とは、メモリ異常、電池電圧低下、無線通信エラーを表します。

外部出力信号の仕様	
ケイホウ端子	有極性 オープンコレクタ出力 (マイコンメータ専用) 接点定格：DC5V、1mA 監視時：OFF しゃ断信号出力時：ON/OFF
外部端子	有極性 オープンドレイン出力 監視時：OFF 警報時：ON(電池電圧低下、無線通信エラー) 接点定格：DC30V、100mA(抵抗負荷)

9 取り付け後の点検

ガス警報器の施工説明書に従って、ガス掛け点検を行い、マイコンメータがしゃ断することを確認してください。

10 お客さまへの説明について

10-1 無線装置の説明

- ① 取扱説明書を読んでいただくことのお願い。
- ② 取扱説明書、施工説明書の保管のお願い。

10-2 お客さまへの周知事項

- ① 無線装置の交換期限のお知らせ(本体に表示)。
- ② 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ③ 無線装置の移設禁止(移設依頼時の連絡先)。
- ④ 無線装置の分解禁止。
- ⑤ 引っ越し時の処置。
- ⑥ 故障・異常時の連絡先。

memo

memo

memo